



散歩道

令和3(2021)年11月26日発行

加西市人権啓発だより
加西市ふるさと創造部人権推進課
加西市北条町横尾 1000 番地
☎ 0790-42-8727

第 17 号

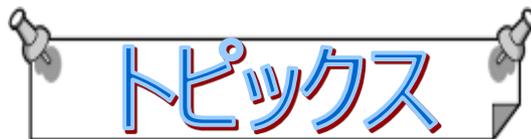
「誰かのことじゃない。」

毎年 12 月 4 日～10 日を入権週間と言います。自分も周りの人々も一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える 1 週間です。

「人権」とは、みんな生まれたときから「自分らしく生きて良いです」とされていることです。しかし、今なお、新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見・差別、インターネット上における誹謗中傷、いじめや虐待、外国人や障害のある人、ハンセン病元患者やその家族などに対する偏見・差別など、様々な人権問題が存在しています。

これらの問題を解決し、「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人ひとりが人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。

この機会に、人権について改めて考えてみませんか？



パラデュアスロン大会 9月26日(日)実施

加西市では 2011 年よりトライアスロン大会、また、2018 年からは、パラの部も加えて開催しています。本年度は、コロナ対策もあり善防中学校を中心にして、ロードレースコースを用いて、swim の代わりに第 1 run、バイクコース(bike)は善防中学校と北条鉄道播磨横田駅折り返し、バイクの後を第 2run のデュアスロンとして実施しました。パラの部では、普段は目にする事のない車いすレーサーやタンデムバイクを駆使して、全力で疾走する選手たちの姿を応援することができました。ちなみに、兵庫県はタンデムバイクの公道走行を認めている数少ない自治体だそうです。

人権フィールドワーク 10月18日(月)実施

目的地：たつの市の皮革工場（タンナー工場見学、革小物製作体験）

第二次世界大戦後、日本の革素材の多くを生み出して一大産地として発展した「たつの市」では、現在もその技術が継承され、人々を魅了し続けています。革小物製作体験など、皮革業の歴史と文化について学びました。





主な人権啓発事業



下のQRコードを読み取り、専用フォームに移動してご覧ください。



★アニメ「めぐみ」オンライン上映

毎年12月10日から16日までは、「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」となっています。そこで、北朝鮮当局における拉致問題に対する理解を深めていただくために、12月1日～31日までの期間、オンラインでアニメ「めぐみ」の上映をします。ぜひご覧ください。

＜アニメ「めぐみ」の紹介＞

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。

このアニメは、漫画「めぐみ」(原作・監修：横田滋・早紀江、作画：本そういち、出版社：双葉社)をモチーフとして制作されました。※政府 拉致問題対策本部 朝鮮による日本人拉致問題 HP より引用

身近な人権問題

人権にかかわる身近な話題を提供します。



長島愛生園訪問研修



丸山公園にある谷川さんの歌碑
(背面)

11月2日火曜日 岡山県にある長島愛生園を訪問しました。加西市は、平成18年に「ハンセン病差別撤廃宣言」を制定し、公募で毎年愛生園を訪問しています。愛生園は、全国14ヶ所あるハンセン病療養所の中で国立の第1号です。

加西市出身の谷川秋夫(仮名)さんが療養されていました。

『なえし手に手を添えもらい わが鳴らす』

鐘は 明日の空にひびかふ』

— 宮内庁歌会始 入選歌 —



＜愛生園資料館＞



＜納骨堂 献花＞



＜入所者のお話＞

現在療養所には、121名の回復者が生活されていますが、平均年齢は87歳と高齢になっています。施設見学と同時に回復者から当時の様子をはじめ、現在の心境などをお聞きしていますが、回復者から生の声をお聞きできるのは、後何年出来ることでしょうか。

※「散歩道」のPDFデータは、加西市ホームページに掲載しています。

(トップページの「市政」→「まちづくり」の「人権」→「計画・施策」の「人権啓発活動」へ)

※表題「散歩道」という名称は、平成13(2001)年度まで人権啓発冊子で使用されていました。